

特集／地域スポーツを支える熱き指導者たち
町政スポット／西村山地区の県立高校の再編整備、平成20年度決算 ほか
カメラさんぽ／Asahi自然観20周年「秋まつり」
まちの話題／朝日町エコミュージアム20周年記念「朝日町の天地人」、前田沢いき
いきクラブに県警本部長・県交通安全協会会長から連名の感謝状 ほか

シャキシャキの食感がたまりません！

食用菊「もってのほか」の収穫
(10月30日；八ツ沼 小松あさ子さん)



広報

あさひまち

2009年11月号
No. 636



特集●地域スポーツを支える 熱き指導者たち

未来を担う 子供たちに 夢を託して

毎月、本誌「各種大会の成績」コーナーでは様々なスポーツ等における子どもたちの活躍を紹介しています。

しかし、その華々しい活躍の陰には、子どもたちの努力はもちろんのこと、地元の指導者の存在があることを私たちは忘れてはなりません。町スポーツ少年団（以下スポ少）、中学校部活動の多くの指導者（コーチ）の方々は、日中は社会人として仕事を持ち、その一方、ボランティアで子どもたちの指導にあたっています。こうした姿勢が町の子どもたちのスポーツ、そしてたくましい心と体の育成を支えているのです。

今回の特集では、こうした町内のスポ少、また中学校部活動を陰で支える指導者（コーチ）の方々取材し、それぞれのスポーツや子どもたちの指導にかける熱い思いをうかがいました。



野球

朝日サンフラワーズ
監督 成原 誠さん

(新宿／30歳)



朝日町初、そして唯一の少年野球チーム「朝日サンフラワーズ」設立（昭和62年）の翌年、小学4年生から野球を始める。小学・中学・高校それぞれの時代にキャプテンを務めるなど、強い責任感と今なお所属する社会人チームのメンバーから厚い信頼を得ている。

小学校時代の恩師からの依頼を受け、6年前コーチに就任し、4年前から監督を務める。生来のキャプテンシーゆえの厳しい言葉とその裏側にある深い愛情で、プロ野球選手を夢見る野球少年たちを育てている。

ソフト ボール

朝日中ソフトボール部
コーチ 長岡 浩之さん

(大町／48歳)



中学は野球部だったものの、高校以降は水泳部。仕事も県外で長年そのインストラクターを務めていた。

13年前、35歳で帰郷した際、中学時代の恩師からの依頼を受けコーチに就任した。草野球は続けていたものの、ソフトボールの経験はなく、当初は試行錯誤の連続。最初とはにかく他校の模倣から始めたという。

「短期間で上達する子どもたちの姿に毎年多くの感動を与えてもらっている。卒業後も『続けたい』と思うような指導をしたい」と指導者としての醍醐味と抱負を語る。

バスケット ボール

宮宿男子ミニバスケットボール
スポーツ少年団

コーチ 伊藤 淳さん

(大町／38歳)



小学5年生からバスケットボールを始め、小・中学生時代はキャプテンを務める。高校は名門の日大山形高校に進学し、高校3大会のインターハイ、国体、ウインターカップにすべてレギュラーで出場した。ポジションはガード。

指導者になったのは、男子のスポ少が団員の減少で休止していた23歳のとき。マンガ「スラムダンク」の人気のバスケットボールをしたいという男子が増え、女子を受け持っていた恩師から男子復活の依頼を受けた。「今の自分があるのはバスケのおかげ。その恩返し」と語る。



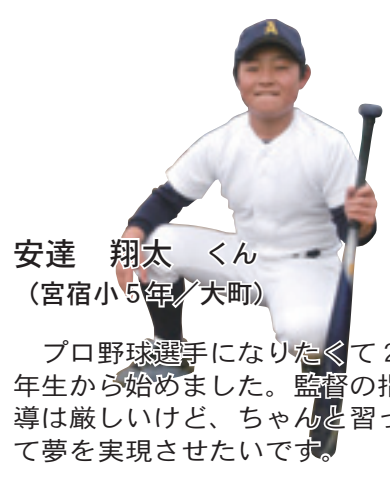
志藤 周平 くん
(大谷小3年／栗木沢)

バスケは2年生から始めました。ゴールに入れた時が特に楽しいです。練習でたくさん走るので体力がきました。



安藤 美穂 さん
(朝日中2年／西町)

コーチの指導は厳しいけど、時には面白いことを言って雰囲気をもたせてくれたりします。ソフトボールは卒業してからも続けたいです。



安達 翔太 くん
(宮宿小5年／大町)

プロ野球選手になりたいくて2年生から始めました。監督の指導は厳しいけど、ちゃんと習って夢を実現させたいです。

陸上

朝日町ジュニアマラソンクラブ
コーチ 鈴木伸治さん
(沼向/35歳)



中学まではバスケットボール部で活躍。3年時には、朝日中初の県大会優勝を果たした。陸上を本格的に始めたのは高校入学後で、主に中距離選手として活躍。2年・3年時には県高校陸上800mで連覇を達成した。

卒業後しばらく陸上から遠ざかっていたが、「昔可愛がってもらった方々へ少しでも恩返しができれば」と、3年前、約10年ぶりに復帰。子どもたちの指導にあたる傍ら、今年の西村山地区駅伝(11/8)に出場するなど、選手としても活躍している。



大竹 克典 くん
(宮宿小5年/大隅)

野球の基礎体力作りのため、今年から習っています。足の出し方、腕の振り方などを教わり、長距離タイムが速くなりました。

剣道

宮宿剣道スポーツ少年団
コーチ 鈴木聡さん
(本町/26歳)



二つ上の兄の影響で小学1年生から剣道を始める。スポ少を巣立った後も、道場には積極的に顔を出し、後輩と剣を交えてきた。そんな流れから高校卒業と同時にコーチになったのも自然な流れだったという。

少子化の影響で団員が減少している中、保育園に向向いて剣道を紹介したり、地元の豊龍まつりで一般向けに神社境内で試合を披露するなどの取り組みも行っている。

「スポ少の子どもたちや、ほかの道場の先生など、剣道を通じて得られるいろいろな出会いを大切にしたい」と話す。



佐藤 亜美 さん
(宮宿小5年/新宿)

聡先生に誘われて1年生から剣道を始めました。気をつけるところをわかりやすく教えてくれるところが好きです。

柔道

朝日柔道スポーツ少年団
コーチ 村山文也さん
(常盤/42歳)



高校時代、友人に誘われて柔道を始めた。卒業後は長く離れていたが、長男が小学3年生から柔道を始め、保護者として顔を出すうちに「自分も一から学び直したい」と再び道着に袖を通した。「最近になってから学ぶことも多い。子どもたちと一緒に学ばせてもらっている」と謙虚に話し、審判講習会等にも積極的に参加している。

「子どもたちには試合で勝つこと以上に、自分の能力を全て出し切ることを言い聞かせている。それを引き出せる指導者になりたい」と語る。



鈴木 諒真 くん
(宮宿小6年/助ノ巻)

5年生から習っています。柔道はきついけど男らしくてカッコいいと思います。中学生になってからもがんばります。

テニス

朝日中ソフトテニス部
コーチ 小林 勝典さん
(夏草／40歳)



先輩に誘われて中学からテニスを始め、大学まで続けてきた。社会人になってからは、寒河江市内のクラブに所属し、6年ほど前からコーチも務めている。

朝日中ソフトテニス部のコーチを引き受けたのは4年前。当時の保護者から請われ、「子どもたちのやる気に応えたい」との思いから引き受けた。「スポーツ時代からの下積みがある寒河江市内の学校に追いつくには最初の1年間が重要」と話す。1年生にも玉拾いではなく、極力同じメニューを課すなど、子どもたち一人一人を大切に指導する。



田川 翔平 くん
(朝日中1年／ハツ沼)

小林コーチはフォームなど基本からしっかり教えてくれます。来年はレギュラーを勝ち取り、活躍したいです。

卓球

朝日中卓球部
コーチ 鈴木 豊和さん
(助ノ巻／33歳)



卓球を始めたのは中学だが、進学先の高校でのある人物との出会いが卓球人生を変えた。その人物とは、べにばな国体の卓球強化部長を務めていた寒河江工業高校卓球部の顧問(当時)。立場上、国体選手の合宿や遠征を率いていたことから、部員もそれに同行する機会が多く、そこで技術・精神面など様々な経験を積んだ。

卒業後は長く卓球から遠ざかっていたが、その恩師と3年前偶然再会。卓球に携わるよう強く勧められ、その後2年ほど前から子どもたちの指導に携わっている。



阿部 航瑠 くん
(朝日中2年／常盤)

今年の中体連県大会での優勝は鈴木コーチの存在がすごく大きかったですね。技術面はもちろん、要所要所でチームを和ませてくれたり、勇気づけてくれたりしました。来年も活躍して恩返ししたいです。

スキー

朝日自然観スキークラブ
コーチ 安孫子 幸弘さん
(西町／39歳)



小学3年生のとき白倉スキースポ少(当時)に入り、大学までスキー筋の人生を送る。

大学卒業後は県外に就職し、一時スキーから離れていたが、14年前、帰郷を機にカムバック。自分が巣立ったスポ少へ親子で再びお世話になることになった。その後恩師からの依頼を受け、コーチを快諾。この冬、準指導員の資格取得を目指して、持ち前の技術に加え理論面も学ぶ。

「自分が教えていただいた方々への恩返し。数年後、自分が教えた子どもたちが指導者として帰ってくるような指導をしたい」と語る。



岡崎 祐 くん
(宮宿小6年／西町)

スキーは小学1年生から習っています。コーチは数年前から、蔵王に連れて行ってくれたり、いつもわかりやすく指導してくれます。今シーズンも自己ベスト更新を目標にがんばります。

末永い競技人生に つながる指導を

日頃より仕事を終えた夜間や休日子どもたちの指導にあたりおられる各スポーツの指導者、中学校部活動のコーチの方々に対し改めて御礼と敬意を表したいと思います。

試合で勝つのは誰でもうれしいことですが、それに導くだけが指導者の役割ではありません。子どもたちが末永い競技人生を送ってもらえるよう、目標は手の届く範囲である「（現在の）一つ上」を掲げ、それぞれの競技を好きになってもらうよう指導を行うことが大切だと思います。

スポーツを教える側も教わる側も、仕事、学校が終わっ



朝日町スポーツ少年団本部長

阿部 哲さん
(常盤／50歳)

朝日卓球スポーツ少年団の指導者として平成元年から携わる。平成17年4月から現職。

てから、あるいは休日に体育館、グラウンドに来るというのは、ややもすれば、面倒なことかもしれない。しかし、いざ来てみれば、仲間、そして子どもたちとともに気持ちよい汗を流しながら競技を楽しむことができるものです。それは結果としてスポーツを通じた仲間づくり、健康づくりの第一歩につながっていくことになります。

少子化の時代ではありませんが、指導する側にも受ける側にも、まずは「体育館（グラウンド）に足を運んでもらいやすい環境づくり」が大切なことだと思います。

「帰る場所」がある幸せ 地元の方々の応援に感謝

私は、小学1年生から中学まで大谷剣道スポ少で多くの先生方から剣道を学びました。その指導のもと高校でも練習に励み、インターハイ制覇を成し得ることができました。

そして現在、中央大学剣道部員として、もう一度日本一をめざし練習に励んでいます。

伝統のある剣道部には全国各地から実績のある選手が多く集まっており、各々がさまざまなスタイルや考え方を持っています。その中で、自分に吸収できるものは吸収して技術の向上を図っています。

しかし私が一番大事とするのは子供の頃に大谷剣道スポ少で学んだ基礎なのです。そ

の基礎を踏まえたうえで、自分にあつた剣道というものを創ってきました。中学、高校、大学と上がるにつれて基礎の大切さを身にしみて感じるようになってきました。

この基礎というのは剣道以外の競技でも大切なものだと私は思います。どんな有名な選手でも最初から強かった訳ではありません。もともとは地元のスポーツ少年団で指導を受けていたのです。

私は長期の休みになると、必ず地元のスポ少に顔を出すようにしています。それは私を育ててくれたことへの感謝であり、改めて自分を見つめ



中央大学剣道部2年

村山 仁さん
(大谷七出身／20歳)

大谷剣道スポ少で小学1年から剣道を始める。酒田商業高校3年生で高校総体（インターハイ）個人全国制覇。中央大学（東京都）では1年生からチームの主力として活躍している。



村山さんを温かく迎える
地元の若手指導者の皆さん
(10月25日／茨城県内の大会にて)

直す場所だからです。こんな私を地元の人たちはとても温かく迎えてくれます。こういった「帰る場所」があるということは私にとって幸せなことです。この地元の方々の応援があるから私はこれからも頑張っていけるのです。

少ない子どもたちでも

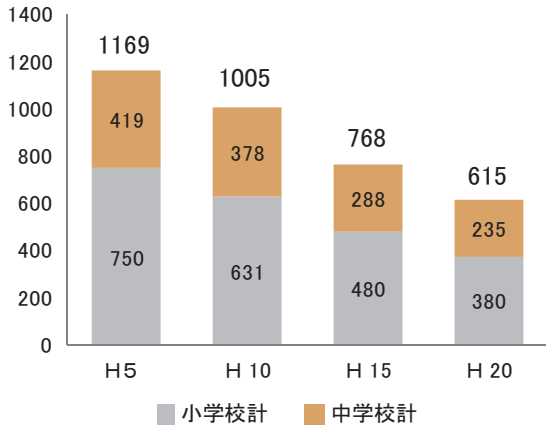
がんばっています

町内各スポ少、中学校部活動のいま

現在は「少子化」が社会の中で様々な影響を及ぼしていますが、青少年のスポーツ面においては、団員・部員数の減少により団体戦のチーム編成が困難になるなどの問題も発生しています。

ただし、これはプラス思考で考えれば、多人数では試合に出場できない子どもたちも、出場する機会が増え、それは結果として多くの子どもたちがいろいろな経験を積むことにもつながります。少子化の時代にはその時代なりのメリットがあることも事実です。

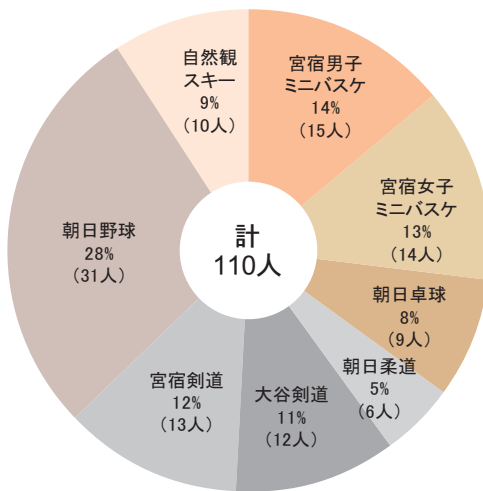
【グラフ 1】 町内小中学生数の推移
(資料：朝日町教育委員会)



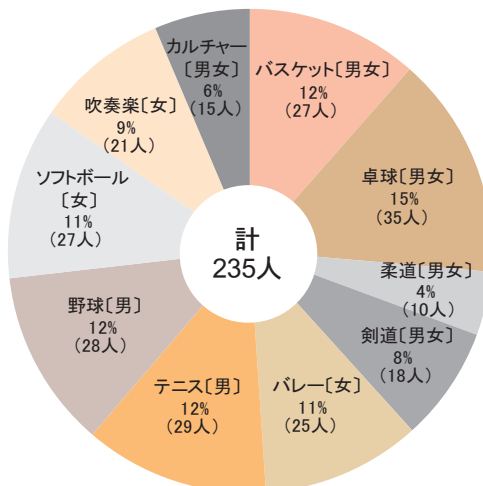
【グラフ 2】 H20年度の町内スポ少団員数（小学生）
(資料：朝日町教育委員会)



【グラフ 3】 H20年度町内のスポ少加入者の状況（小学生）
(資料：朝日町教育委員会)



【グラフ 4】 H20年度朝日中部活動加入者の状況
(資料：朝日中学校)



【グラフ 1】 朝日町内の小中学生の推移

過去15年間の推移を表しています。平成20年度は、小学生で平成5年当時の約50%、中学生で同約56%、全体で約52%台まで減少しています。

【グラフ 2】 町内スポ少団員数（小学生）

平成20年度は全小学生380人のうち、全体の約30%にあたる110人が町内のスポ少に加入しています。なお、確認できる範囲で過去の加入者数を調べたところ、平成15年度には153人で、全小学生に占める割合は約35%

%だったことから、この5年間で5%ほど減少しています。このほか、町内においてもスポ少に登録していないスポーツ団体や、町外の団体でスポーツにはげんでいる子どもたちもいます。

【グラフ 3】 町内のスポ少加入者の状況

平成20年度の人数をまとめています。野球が若干多いのを除けば、どのスポ少も15人前後となっています。1試合10人の選手の出場が求められるバスケやソフトボールは男女ともに厳しい状況となっています。また、人数的には足りていないスポ少でも、競技を始めて

間もない低学年の子どもたちが大会出場を余儀なくされているところもあります。

【グラフ 4】 朝日中部活動加入者の状況

平成20年度の1年生から3年生までの合計人数をそれぞれの競技男女混合でまとめています。男子のみで構成する野球とテニス、女子のみで構成するバレーとソフトが、他の男女で集計している部と比較して若干多い状況となっていますが、全体の3分の1にあたる3年生が抜けた後は、いずれの部も少ない人数での活動を余儀なくされています。

「キャンパス制」などを提案

西村山の生徒が西村山で学ぶ魅力をもめる高校のあり方を検討

～「西村山地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会」「中間まとめ」に関する地域説明会～

質疑応答の中から一部を紹介いたします

Q. 現在小中学校で実施している少人数学級「さんさんプラン」を高校にも導入することはできないのか。

A. 検討委員会でも話は出たが、（現在の）一学級40人というのは国の基準。国から交付される予算もあるので、県が単独で実施するのは難しい。

Q. キャンパス制はいい発想だが、どんな内容の交流を考えているのか。

A. 校舎の設置場所にもよるが、授業間で移動することを考えると、教師が移動することになるだろう。ただし、夏季・冬季の特別な講義などは様々な形態の交流が考えられる。

Q. 現在は社会全体が東南村山地域へ集中している状況だ。そういった意味でも、西村山地域の子どもたちが、入りたいと思うような高校への再編を望む。

A. 今回の再編整備の根本にあるのは「西村山地域の子どもたちを、この地域に残したい」という考えだ。今回提案した「キャンパス制」は実現されれば県内では初の試みとなるが、今後もなお一層地域の方々の声を聞くようにしたい。

昨年度から検討が進められている西村山地区の県立高校4校（寒河江、寒河江工、谷地、左沢）の再編整備についてこのほど中間報告がまとまり、その説明会が10月29日創造館で開催されました。今年3月末現在の西村山地域（以下「本地域」）の中学校卒業生は934人。しかし、推計では5年後の平成26年度には815人となる見込みです。また、現在本地域の県立高校4校では16学級、640人の生徒が学んでいます。今後、卒業生の減少が続くことから、県教

育委員会では、26年度には、適正規模として13学級程度を見込んでいます。しかし、ここで仮に現在の4校体制のまま学級数のみを減らした場合、一校あたりの生徒や教員数の減により、部活動や一部の教科（社会や理科）の選択の幅が制限されていくこととなります。また近年は本地域の中学校卒業生の多くが東南村山地域の高校へ進学していることから、本地域の子どもたちが本地域の高校で学ぶ魅力を高めるため、高校自体の再編整備が検討されているものです。

この日は教育関係者や小中学生の保護者など約60人が出席。説明では、特色の異なる3校が交流・連携した「キャンパス制」による再編や、医療や美術などの選択科目を充実させた普通科の進学校と、農工業関係の専門学科及び総合学科を併置した学校の「2校への再編」などが報告されました。この報告会は西村山管内の各市町で開催。今後各住民の方々の声を踏まえてさらなる検討を重ね、来年2月までに最終報告をまとめる予定となっています。

町交流・観光の拠点として果たすべき役割を再確認

Asahi 自然観20周年記念式典



Asahi自然観の20周年記念式典が10月25日開催され、町内各種団体の代表者や、設立・運営に携わった町職員OBなどおよそ100人が出席しました。

式典では、はじめに代表取締役社長である鈴木町長が式辞。計画当初は建設に賛否両論があったことや、過疎対策、雇用面、そして交流・観光面で大きな役割を果たしてきたことなどについて、これまでの尽力されてきた方々へ感謝とねぎらいの意を表しながら述べました。

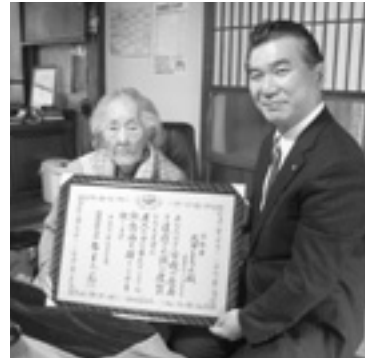
このあと、20年の歩みを振り返る写真の上映や記念祝賀会も開催され、出席者は思い出話に花を咲かせながら、30周年、40周年でのさらなる盛会を祈念しました。

ご長寿おめでとうございます

100歳以上の長寿者に内閣総理大臣から賀詞

今年100歳を迎えられた長寿者5人に対し、このほど内閣総理大臣から賀詞が贈呈され、その伝達のため10月20日鈴木町長が対象者のもとを訪れました。

そのうちの一人、武田をちよさん（栄町）は、自宅周辺の草むしりや、家族経営で育てているぶどうの出荷箱作りなど、近年もはつらつとした日々を過ごしています。家族の方によれば、好きな食べ物はお寿司だそうで、回転ずしに行けば、大好きなマグロなどを中心に5皿ほどを召し上がるそうです。



【内閣総理大臣賀詞等贈呈者（敬称略）】

松田ヨ子ヲ（大谷四）、阿部みち（松程）、武田をちよ（栄町）、後藤せい（宿）、志藤あを（ふれあい荘）

芸術文化の素晴らしさ

見ようによっては、両手を合わせ拝んでいるように見える『拝みカマキリ』。実は、この左右の前脚を揃えて胸部につけるように折りたたむ独特の姿勢は、じつと動かずに待ち伏せをし、獲物を狙う時の体勢だと言われています。

ものの方は千差万別で十人いれば十人の見方、そしてまた、同じ人でもその時の思い感情の違いなどによって、同じものを見てもまるで違った見方をしている。

まう。

ものの本質・真髄とは一体どのようなもので、どうすれば見極めることができるようになるのでしょうか。

十一月三日。

四十五回目を迎える朝日町芸術文化祭。多くの来場者を迎えて

の式典が創造館ホールで行われ、その折当町出身の若柳由美香先生の祝舞が披露されました。会場は水を打った静けさに包まれ、その中で至福の芸の粋を堪能さ

素直な気持ちで見ること、その奥にある真実を見る目を養うこと

せていただきました。

一芸を追求されたその先には、絶え間ない努力と研究心。そしてひたむきな情熱によって、普段私たちの気付き得ない真の意味を教

えていただける。芸術とは奥が深いものだなあと改めて考えさせ

られた思いです。「茶の湯の中に何を見出すか」などと言うことは、素人の私にはとてもとても奥が深く口にすることもできませんが、

農業経営統計調査に貢献 鈴木喜美夫さんに農水大臣より感謝状

農業経営統計調査対象農家として20年にわた



り協力された鈴木喜美夫さん（雪谷）にこのほど農林水産大臣より感謝状が贈呈されました。農業経営統計調査とは、個別の農業経営や農家経済の動向を明らかにすることを目的に、農林水産省が行う統計調査。鈴木さんはご自身が営む畜産等について、収支内容や管理費、労働時間など簿記の記帳を通じて長年調査に貢献されました。鈴木さんは「各種数値の記帳を通じて、経営の良い点、悪い点が見えてきました。その点では自分にとってもプラスになりましたね」と語っていました。

地区の和を大切に…

西町公民館が県優良公民館等表彰

このほど西町公民館（佐竹政子館長）が平成21年度山形県優良公民館等表彰を受け、10月22日に米沢市で開催された第20回山形県公民館大会の席上、表彰状が贈呈されました。

今回評価を受けたのは、子どもから高齢者までの世代間交流事業を通じた地域活性化活動や、現代的課題に対応し、生活に密着した講座を開催している点。佐竹館長は「これからも様々な活動を通じて、地区民の『和』を大切にしていきたい」と語っていました。



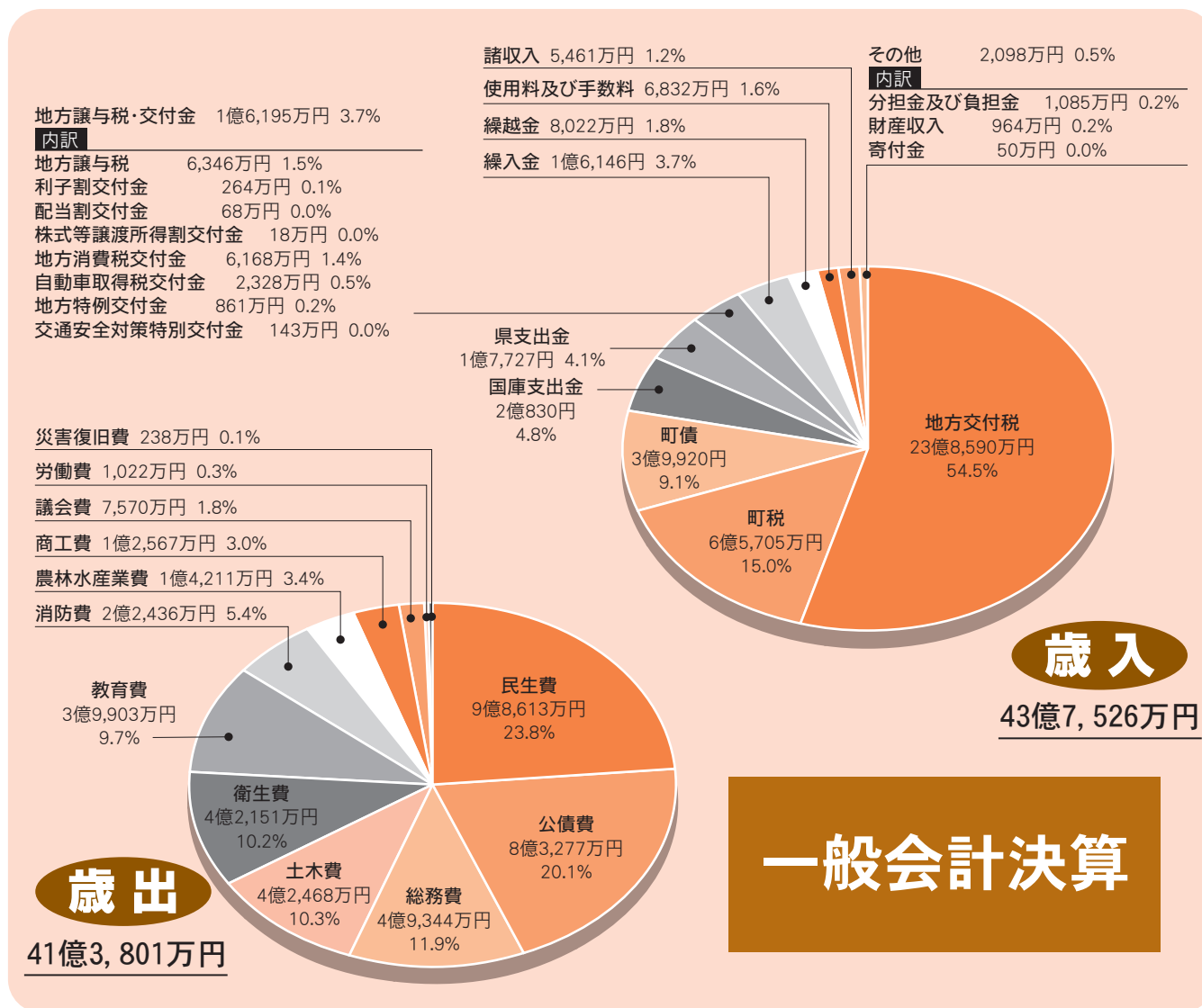
ただ素直に見えるものを心に留め、触れるもの、聞こえる音など、体感できるものを自分の感性で味わう。このことがとても大事なことはないかと教えていただいた気がします。

目の前にあるものを素直な気持ちで見ること、その奥にある真実を見る目を養うこと。そこにも芸術文化の素晴らしさ、奥の深さの一端があるのではないかと思います。

朝日町長 鈴木浩幸

平成20年度 決算の概要

朝日町の平成20年度決算が、9月議会で認定されました。みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金がどのように使われたのか、本町の財政状況がどうなっているのか、その概要をお知らせします。この結果は、平成21年度の予算執行、平成22年度の予算編成に生かされます。



歳入歳出決算

(単位：円)

		歳入（収入）	歳出（支出）	差引	町債現在高	積立金現在高
一般会計		43億7,526万	41億3,801万	2億3,725万	50億8,871万	10億5,423万
特別会計	集落排水事業	2,360万	1,776万	584万	3,670万	3,232万
	国民健康保険	10億6,282万	9億4,147万	1億2,135万	—	1億8,522万
	老人保健	1億4,530万	1億4,281万	249万	—	—
	介護保険	8億4,762万	8億3,466万	1,296万	—	4,211万
	後期高齢者医療	8,156万	8,068万	88万	—	—
企業会計	病院事業	(収益的収支)	7億4,287万	7億4,607万	△320万	6億9,518万
		(資本的収支)	5,869万	1億488万	△4,619万	
	水道事業	(収益的収支)	1億6,926万	1億3,682万	3,244万	2億1,333万
		(資本的収支)	2,212万	1億1,685万	△9,473万	

※病院事業・水道事業の収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしています。

※全会計とも、実質黒字または資金剰余となっています。

財政指標で見る朝日町の財政状況【☺…良い、☹…普通、☹…良くない】

		平成20年度		平成19年度		
		朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	全国の類似団体 122町村の平均 (朝日町の順位)
財政力指数 (1に近いほど余裕がある)		0.24 ☹	0.29 (高い方から14位)	0.24	0.29 (14位)	0.27 (54位)
経常収支比率 (値が小さいほど自由に使えるお金が多い)		94.9% ☹	91.5% (小さい方から18位)	95.9%	92.1% (19位)	88.1% (106位)
一人当たりの町債残高		60.7万円 ☹	55.1万円 (少ない方から12位)	63.1万円	57.3万円 (12位)	92.0万円 (24位)
健全化判断比率	実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) ☺	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	連結実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) ☺	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	実質公債費比率 (小さいほど公債費負担の割合が少ない)	12.1% ☺	17.1 (小さい方から1位)	12.7%	17.5% (1位)	16.3% (23位)
	将来負担比率 (小さいほど将来の債務の割合が少ない)	53.8% ☺	117.3% (小さい方から2位)	60.8%	129.0% (2位)	

(注1) 指標は「地方財政状況調査」「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」をもとにしています。
(注2) 平成20年度は速報値(見込み)です。
(注3) 県内町村、類似団体の各種比率は、単純平均です。

【類似団体】

人口、産業構造の組み合わせが似通った町村。全国の町村を15グループに分類している。

【財政力指数】

標準的な行政活動を行う経費に、町税等の標準的な収入でどれだけ賄えるかを示す。1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕がある(1を超えるると普通交付税の不交付団体となる)。

【経常収支比率】

経常的収入(町税、普通交付税等の毎年常に入ってくる財源)から経常的支出(人件費、公債費、扶助費等の毎年必ず支払う経費)に充てられた割合を示す。値が小さいほど自由に使える資金が多い。

【健全化判断比率】

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、地方公共団体の財政の健全性に関する比率。基準を超える」と財政健全化(再生)計画を策定し、財政の早期健全化及び財政の再生を図ることとなる。計画が実施されないときは、国・県から予算の変更等の勧告を受ける場合がある。

【実質赤字比率】

一般会計等に係る実質赤字額の標準財政規模(税+交付税+臨時財政対策債)に対する比率。「早期健全化基準15%、財政再生基準20%」

【連結実質赤字比率】

全会計に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率。「早期健全化基準20%、財政再生基準40%」

【実質公債費比率】

一般会計等が負担する公債費(借金の返済)等に充てた一般財源の、標準財政規模に対する比率。この値が大きいほど、公債費の割合が高く、財政を圧迫していることとなる。18%を超えると町債の発行に県の許可が必要となる。「早期健全化基準25%、財政再生基準35%」

【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき債務(借金等)の標準財政規模に対する比率。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高いことを示す。「早期健全化基準350%」

【朝日町の状況、および今後の取り組み】

朝日町の健全化判断比率は、早期健全化基準を大きく下回り、県内町村の中でトップクラスの「健全段階」となり、これまで、財政の健全運営に努めてきた結果が反映されたものとなっています。しかし、財政状況を考えるときは、他の財政指標等も合わせて考える必要があります。朝日町は、特に財政力指数、経常収支比率が良くありません。これまで、人件費・公債費等の経常経費の削減に努めて来ましたが、少子高齢化・定住対策に要する経費の増加、更には、町税や地方交付税の歳入の減少により、今後とも厳しい財政運営となる見込みです。持続可能な財政運営を行うため、引き続き、財政の健全性を保つよう努めます。全体の財政状況を判断しながら、総合発展計画や行政評価と連動し、事業の重要度・優先度や投資効果などを考慮して、効果的・重点的な財源配分を行う必要があります。

り



上空から眺める「樺平の棚田」
扇状に広がるその美しい姿に多くの人が感動していました

紅葉の朝日町 ヘリコプター遊覧



見事に赤く染まったもみじを
写真に収める人の姿も



新旧明鏡橋と大隅、栗木沢、そして大谷地区
りんごの反射シートがいたるところで確認できました

Asahi自然観20周年

秋まつ

このほどオープン20周年を迎えたAsahi自然観の「秋まつり」が10月24日・25日の両日開催されました。

今回の秋まつりは20周年を記念して例年以上に様々な催しを開催。中でもヘリコプター遊覧飛行は2日間で160人が利用し、紅葉のベストシーズンとなった自然観周辺や、最上川の蛇行、稲刈りを終えた黄色の田んぼなど朝日町の街並みを楽しみました。



地元の有志によるチェーンソーアート



白倉産の豊富な山の恵み



ウサギとのふれあい



「そばの実会」による
手打ちそば



四輪バギーにまたがり
紅葉を楽しみました



ナメコたくさん採れたよ
(10月22日／わかば保育園)

まちの話題

ここで紹介した情報以外にも、ホームページ内「まちの写真館」には写真がいっぱい。見てね！



朝日中2年生が手作り絵本の読み聞かせ
(10月14日／さゆり保育園)

朝日町エコミュージアム20周年記念事業「朝日町の天地人」(11月8日／旧立木小ほか)

「天地人」にまつわる町内の様々な遺構を多方面から考察



八ッ沼城跡を散策する参加者

現在の「NPO法人朝日町エコミュージアム協会」の母体である「町エコミュージアム研究会」が設立されてから20年の節目を迎えた今年、その記念イベントとして11月8日「朝日町の天地人」と題した歴史学習会が開催されました。

この日は午前・午後の2部構成の内容で、今年のNHK大河ドラマ「天地人」にまつわる町内の様々な遺構について多方面から考察。午前中は「もう一つの出羽合戦。八ッ沼城は強かった」というテーマのもと、1600年の慶長出羽合戦の際の上杉軍による町内への侵攻経路などを見学しました。このうち、現在の春日沼付近にあったとされる八ッ沼城跡では、町エコミュージアム案内人の会会長の宮本建一さん(西船渡)が当時の上杉軍に対する地形を生かした守りを解説。攻略されるまで2週間ほどを要した根拠について説明しました。

続く午後には旧立木小を会場に「朝日軍道」をテーマにしたパネルディスカッションを開催。パネリストに北畠教爾朝日町史編さん委員、山田栄二朝日連峰天狗小屋管理人、花山忠夫朝日山岳会会長、大原一興日本エコミュージアム研究会会長を迎え、コーディネーターは長岡信悦町エコミュージアム協会理事長を務めました。このうち、朝日軍道の歴史的研究を解説した北畠氏は、花山氏らによる踏破記録写真を目にし「すばらしい情報をいただきました。古文書と現場がつながりました」と語っていました。

この20年間の運営に携わってきた長岡理事長は「町発展計画に取り入れていただくなど、町と手を取り合ってきたことが長年継続できた秘訣だと思います。最近では各地区が自分たちで住む地域を見直す活動を始めるなど、協会の外でもエコミュージアム的な活動が生まれています。今後も町やそうした団体と連携しながら会の発展を図っていきたいですね」と語っていました。



パネルディスカッションの様子

宮宿商店街「豊玉姫まつり」第3弾 収穫感謝祭 (11月8日／宮宿中央通り商店街)

りんご一色に彩られた商店街

農耕の神様「豊玉姫」が祀られている豊龍神社の門前町・宮宿地内に、往時の賑やかさを取り戻そうと、宮宿中央通り商業振興会(鈴木徳博会長)が中心となって企画した豊玉姫まつりの収穫感謝祭が11月8日同商店街で開催されました。

朝日町の収穫期にふさわしく、今年は「りんご」をテーマに、即売会や来場者が審査員となる料理コンテスト(写真右)を開催。そのほか、

「りんご畑のベント」こと、りんごの防除機(スピードスプレヤ)が展示されるなど、商店街がりんご一色になりました。



りんごを使った料理コンテスト



通行者を見守るかかし
今年のテーマは「浦島太郎」

前田沢いきいきクラブに県警本部長・県交通安全協会
長から連名の感謝状が贈呈 (10月22日／前田沢公民館)

8年間かかして交通安全をよびかける

毎年、前田沢交差点付近に「交通安全かかし」を設置している前田沢いきいきクラブ（長岡一美代表）がこのほど県警本部長・県交通安全協会長の連名による感謝状の贈呈を受け、10月22日その受賞祝賀会が同区公民館で開催されました。

同クラブは地区内の高齢者が気軽に集まり楽しく過ごす場を設けることで介護予防につなげようと、平成13年に設立。地区内のボランティアの方々（12人）が企画・運営にあたり、高齢者の方々（25人）とともに様々な活動を行っています。

かかしの製作は、地区が国道

沿いにあることから、交通安全を呼びかけようと、同14年から開始。昔話などを題材に毎年5～10体ほど製作してきました。

長岡代表は「かかしを作るたび、自分たちも交通安全を意識するようになりました。近年前田沢付近で事故が無いのも、かかしが見守ってくれているんでしょね」と語っていました。



盛大に開催された受賞祝賀会

棚田米販促キャンペーン
(10月31日／神奈川県小田原市)



棚田米を首都圏でPR

10月31日、榎平棚田保全活動推進委員会（志藤勝幸会長）による棚田米販促キャンペーンが昨年に続き神奈川県小田原市の小田原百貨店で行われました。同委員会では平成19年から榎平の棚田米を県外米穀店に出荷していますが、首都圏の消費者においしさと棚田の原風景を知ってもらおうと実施されました。

この日は、新米のコシヒカリを炊きたてのおにぎりで提供。消費者からは「天日干しは何が違うの」などの質問が寄せられ、約100個分が飛ぶようになくなっていきました。

りんごの樹オーナー制収穫
祈願祭 (10月24日／秋葉山交遊館)



収穫間近の作業で団らん

一口5万円ですりんご（ふじ）の木丸ごと1本のオーナーになれる「りんごの樹オーナー制」。10月24日、今年の収穫祈願祭が開催されました。

今回はオーナー登録者66人のうち33人とその家族など97人が参加。午前中に各園地で玉返しなどの作業を行ったあと、交遊館に場所を移動。地元産ワインやりんごジュース、そして収穫を祈願する杵つき餅などで朝日町の秋を味わったほか、りんごの皮むき競争などのアトラクションも催され、参加者は終始満面の笑みを浮かべていました。

朝日中3年生ぶどう収穫
体験会 (10月15日／ワイン城)



5年後の再会で乾杯

朝日中3年生のぶどう収穫体験会が10月15日ワイン城（朝日町ワイン）内の園地で行われ、82人の生徒が参加しました。

この体験会は平成14年から毎年3年生の親子行事として行われているものですが、今年は新型インフルエンザの影響により予定が変更され、生徒だけの行事となりました。

収穫したのはメルローという赤ワインの原料となる品種で、このブドウからワインが造られ、5年後の成人式のときに初めて口にするお酒として贈られる予定です。



今輝いて

【拡大版】

「できれば町内に
機織り文化を残したい」

朝日町で最後の現役機織り技術者

阿部 知子さん（常盤）

朝日町と
養蚕・製糸業のかかわり

▼開国により製糸が一大産業に

1859年、日本はアメリカとの間に日米修好通商条約を締結しました。それにより、200年以上続いた鎖国が終わり、横浜・長崎・函館の3港が開港。諸外国との貿易が開始されました。それ以降、品質の高い日本の生糸が大量に輸出されるようになり、群馬県の富岡製糸場が代表されるように、全国的に製糸業が急速に発展していきました。

▼盛んだった西部地区の養蚕

その波は山形県にも波及し、中でも江戸時代の藩政期から藩の奨励の下で養蚕業を学んでいた置賜地方では、養蚕景気に沸きました。朝日町内でも、置賜地方に近い上郷地区や西部地区は特に養蚕が盛んで、大きくその景気の恩恵を受けました。

「朝日町の歴史」によれば、松程村（当時）では、明治20年に「松程共同会」が設立され、養蚕技術の向上のため、養蚕講話会や蚕種の共同購入、そのほか桑園の改良や女子のための技術の伝習会等の活動も行っていました。また、明治42年には農民の手による製糸場として「松程協同製糸場」が設立されています。

明治以降、養蚕が盛んだった松程地区で生まれ育った阿部知子さん。知子さんが生まれた大正末期は明治期から続いていた養蚕が最も盛んな時代でした。

今年84歳を迎えられた知子さんによると、当時は今の西五百川小学校の辺りと旧五百川橋左岸付近に大手製糸会社の出張所である「購繭所」（こうけんじょ）があったそうです。各農家は家庭で育てた蚕をそこに持ち寄り、会社が買い取っていました。知子さんの実家は会社が引き取らない規格外のものを安く買い取り、地元の女性5〜6人ほどを雇って糸をつむ

ぎ、それを一枚の反物に仕上げる商いを営んでいたといいます。

当時は現在のように出来上がった着物（服）を買う風習はなく、ほとんどの家庭では女性が反物から着物に仕立てていました。知子さんの実家では、商売柄、糸や反物が豊富にあったことから、和裁と機織りに関しては幼い頃から母親にしっかりとしつけられたそうです。

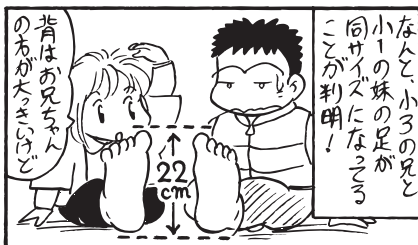
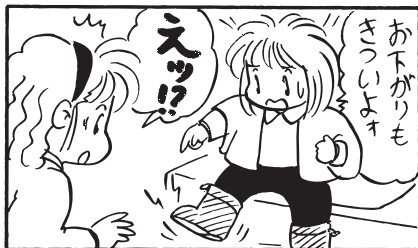
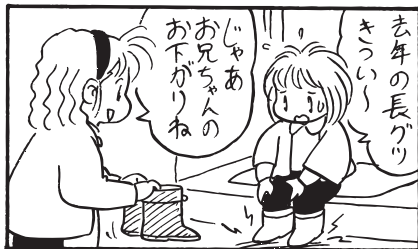
そんな幼少期を過ごした知子さん。24歳のときに、縁あって常盤の阿部宗一郎さんのもとに嫁ぎ、以降、家業である商店を手伝ってきました。その後、57歳で店頭か

ら身を引き、それを機に、長年離れていた機織りを再び始めることを決めました。嫁入り道具として持参した自分の織機はすでに処分していたことから、代わりの物を町内のある方から譲っていただいたそうです。

知子さんに機織りを再び始めたきっかけについて尋ねると、「一番は自分が好きだからでしょうね。それは幼い頃から糸や反物、機織りが身近な存在としてあったことが大きいと思います。それに、昔の人の伝統技術が埋もれていくのは寂しい気持ちもありました」と語ってくれました。

となりの リンゴさん

(220) ホリイ



各種大会等の成績

■第30回ナイター野球大会（7月6日～9月7日／朝日中グラウンド）

▼Aクラス優勝 ジャンボリー
▼Bクラス優勝 フェニックス

■ナイター野球30回記念トーナメント大会（10月13日～10月27日／朝日中グラウンド）

▼優勝 ジャンボリー
▼準優勝 朝日商工

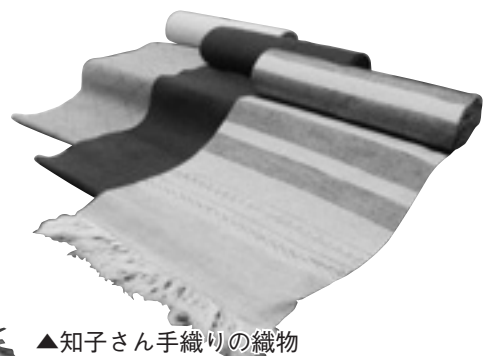
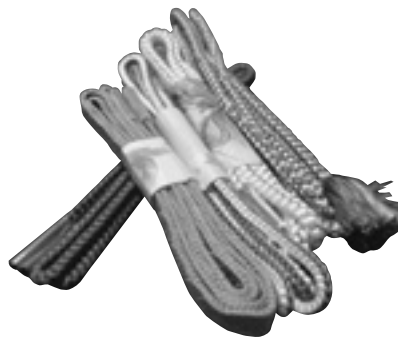


そうして長年続けてきた機織り（はたお）ですが、出来上がる反物は多くなくなる一方。そこで宗一郎さんも株式会社朝日相扶製作所（昭和45年創業／家具製造）の経営者として第一線に立っていた頃は、これを取引先への手土産としてたびたび持参したそうです。糸からすべて地物を利用して作られた逸品という

ことで、特に高い年齢層の方に喜ばれたほか、直接手に取り、様々なデザインを着想する材料としても活用されていたそうです。知子さんによれば、現在町内には、織機は数台残っているものの、現役で織っているのは知子さんご自身さんだけとのこと。時代の流れとは言え、文化が消えようとしているのは残念です。朝日町に伝わってきた機織り文化ですの

で、できれば織機とともに町内に残したいですね」と未来への希望を込めて語ってくれました。

▼織物のほか和装には欠かせない帯締めも一本の糸から手がけます。



▲知子さん手織りの織物

素材も絹やつむぎ、そしてちりめんなど一般的なものからアオンまで様々。素材にもよりますが一反の布（幅約37cm、長さ約12m）を仕上げるには、早くても1カ月程度かかるそうです。

▼製糸業の衰退

当時、日本の製糸産業は全面的にアメリカへの輸出に依存していました。そのため、昭和4年（1929）、ニューヨーク株式市場の大暴落をきっかけとして始まった世界恐慌は、アメリカの絹需要を急激に減退させ、日本の製糸業に大打撃を与えました。

この恐慌による長引く不況や、次第に産業の国家統制が進み、多くの製糸工場が軍需工場化されたこともあり、国内の養蚕・生糸産業も減退していきました。

町内においては、昭和30年代頃までは多くの家庭で養蚕が行われていたようですが、絹製品の需要減少に伴ってその数も次第に減少し、今では完全に養蚕農家が消滅しています。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。
なお、無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

無袋ふじりんご（5キロ）が当たる 「観光情報メールでゲット！キャンペーン」

▼対象者 ①すでにメール会員の方
②新規にメール会員となった方

▼応募方法 携帯電話のメールから下記のアドレス宛
にご応募いただくか、下記のQRコードを読み込んで、
そのアドレスにご応募ください。

宛先：kankou-jh@town.asahi.yamagata.jp

題名：「メールでゲット」と入力

本文：①「性別」②「都道府県名」③「市町村名」を
入力

▼募集期間 12月20日（日）まで

▼当選発表 ご応募いただいた
携帯電話のメールアドレスを
通じてお知らせいたします。

▼問合せ先 朝日町観光協会
☎67-2134



問 数カ月に町の観光協会からの「観光情報メール配信」に申し込みました。最近では毎週のように、携帯電話に週末のイベント情報などが届きます。正直言って、町内でも毎週これだけいろいろな催しが開催されていることに驚きました。私自身もちろん、全てのイベントに足を運んでいる

わけではありませんが、たとえイベントに参加できなくとも、いろいろな町内の動きを知ることができ、登録する価値があったものと感じています。
ところで、この「メール配信」の登録者はどれくらいいるんでしょうか。ぜひ多くの人に登録をおすすめしたいと思います。

【無記名】

「観光情報のメール配信」で町の動きをキャッチしています

答 この「メール配信」は、平成20年7月からスタートしました。当初は配信頻度もあまり高いとは言えない状況でしたが、今年4月以降は町観光協会の体制が充実したこと、徐々に頻度を高め、7月からは原則として毎週金曜日に週末町内で開催されるイベント情報などを配信しています。

町以外の団体が主催するイベント情報に関しても、積極的に配信しています。周知を図りたい催し等がございましたら、ぜひ情報をお寄せください。

なお、登録者については現在のところまだ100人程度の状況です。そこで協会では今後さらなる受信者を募集するため、このほど無袋ふじりんご（5キロ）が当たる「観光情報メールでゲット！キャンペーン」を11月1日から実施しています。皆さんもどうぞこの機会にお申し込みください。

【町観光協会事務局】

マーティ先生からハロウィンパーティーのお知らせ 参加する人は必ず仮装してきてね

■日時 11月28日（土）午後1時～3時

■場所 開発センターホール

■定員 150人

■チケット 一人300円

11月18日～26日までの平日、午前8時30分から午後5時までの間、創遊館内の

教育委員会事務室で取り扱い。150人限定ですのでお早めに。

■その他 当日、新型インフルエンザの疑いがある人の参加はご遠慮ください。

■問合せ 教育委員会教育文化課

☎67-3302





平成21年(2009年)
■10月1日～10月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
夏草	佐藤 さあや	女	修・弘美
助ノ巻	鈴木 もも	女	俊吾・旬
西船渡	若月 りん	男	一浩・裕子
真中	小嶋 せい	男	紘太・真季
杉山	齋藤 けい	女	隆・さなえ



おしあわせに

堀敬一 (舟渡)	伊藤 律子 (大江町)
佐々木 浩雄 (長井市)	鈴木 直美 (宇津野)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
助ノ巻	鈴木 一男	トシノ
中沢	堀 新一郎	和彦
大谷四	和田 新五郎	信由
大谷一	白田 志づゑ	美喜子
大町	長岡 サキエ	浩之
本町	樋口 ハル子	儀四郎

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成21年10月31日現在

人口	8,249人 (-4)
男	4,088人 (-7)
女	4,161人 (+3)
世帯数	2,537世帯 (±0)
	() 内前月比

——— 10月中の異動 ———

出生	5人	転入	12人
死亡	7人	転出	14人

箱根駅伝ランナー 櫻井豊さんにチャレンジ



新型インフルエンザの影響で中止となった町民アップル駅伝競走大会。各チームはこの大会のため走り込みを重ねてきただけに、中止を残念がる声も多く聞かれました。

そんな中、大谷風神会（志藤正利会長）では中止のうっぴんを晴らそうと、昨年1月の箱根駅伝で東洋大学の7区を務めた櫻井豊さん（大谷五区出身）を招き、「箱根ランナーにチャレンジ 櫻井豊 vs 大谷風神会」といったイベントを11月1日開催しました。

内容は、秋葉山交遊館を発着地点に、大谷・栗木沢を通過する一周約2.4キロのコースを周回するもの。櫻井さんが一人で10周、24キロを走り切ったのに対し、風神会のメンバーは10人ずつ2チームに分かれ、タスキをつなぎました。

結果は約2周分の差で櫻井さんが勝利しましたが、冷たい雨にもかかわらず、風神会の皆さんも全員が各自の区間を走り切り、その後は櫻井さんも交えて、格別の味のお酒を楽しんだそうです。

「アップル駅伝」中止のうっぴんを晴らす

お詫びと訂正

広報あさひまち10月号3頁「特集 地上デジタル放送」の記事の中で以下のとおり掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤…今ならもらえる「エコポイント」……………

(平成21年3月31日購入分の商品までが対象です)

正…今ならもらえる「エコポイント」……………

(平成22年3月31日購入分の商品までが対象です)

※なお、この購入期限は制度創設時のものであり、今後の政府の動向次第では延期される可能性もあります。

森重流

砲術伝承会



「ドーン」というすさまじい轟音を立てて繰り広げられる戦国時代さながらの演武に、観衆から驚嘆の声が上がっていました。

(11月3日町芸術文化祭にて)

「森重流砲術は、防州末武（山口県）の森重靱負都由（もりしげゆきえすべよし／1759-1816）が流祖です。彼は砲術に加え船戦法や兵学をも学んだ人物で、射法は、作法を重んじ小銃から大砲まで細かく練法が定められています。上杉鷹山の時代には米沢藩に出向き、藩士らに砲術・火術を伝授しています。」

私は森重流砲術の研究を40年以上行ってきました。平成5年に東京より朝日町に転入し、平成6年から地元の間下生と共に毎月1回稽古を重ね、学問的にも正統な森重流砲術を伝承してきました。長年の研鑽の結果、平成8年には、森重流砲術を伝承してきた（社）日本ライフル射撃協会の前会長の（故）安斎実氏より免許を皆伝され、師範に任命されました。

現在は全国各地で行われる古式砲術演武大会にも参加し、安斎氏が昭和6年より長年にわたり研鑽伝承してきた古式砲術の火を受け継ぎ守っています」（永井さん談）



森重流砲術伝承会
師範 永井正之さん（松原）



今回の特集ではスポーツ少年団の指導者や中学校部活動のコーチの方々を紹介しています。私自身、長年スポーツにお世話になった身ですので、皆さんの話を興味深く聞かせていただきました。

今回お話をお伺いした方の一人から印象的な一言がありました。それは、「子どもたちの活躍を支えるのが我々指導者だとすれば、指導者を支えるのは家族。いくら子どもやスポーツが好きでも家族の理解なしでは、こうした指導もできないんです」という内容のもの。指導者のご家族の存在も忘れてはならないことに気付

春夏秋冬

編集後記

指導者の家族のご理解も
忘れてはなりません

かされました。

特集の後半部分には一昨年、インターハイ剣道個人で全国制覇を成し遂げた村山仁さんよりコメントをいただいています。文章全体に大谷剣道スポーツに対する村山さんの熱い思いが込められていますが、「帰る場所がある幸せ」という言葉には特に感動しました。余談ですが、この言葉を目にした時、某人気アニメ「G」の最終話で主人公「A」が同じ内容の言葉を口にしてたことを思い出しました。

佐久間 淳